

愛は地球を救う作戦

銀マ

ATORA
presents

企画

29. 4.17

マヒロー

Story – ストーリー



——20XX年、
人類は地球外知的生命体との初接触を果たす。

その名も、「銀河人類統合体」

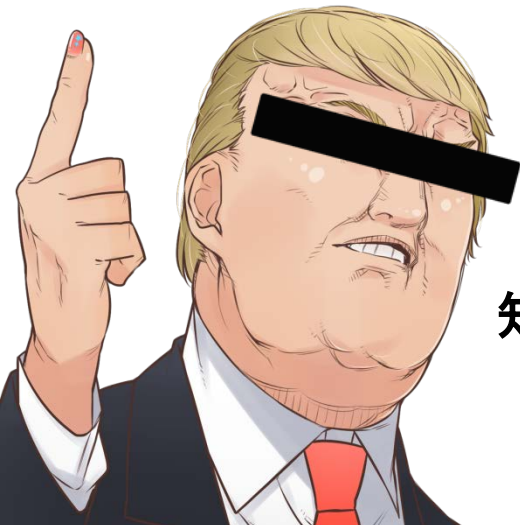
そのような事は全く知らされていない一般人、白井亮太は、
目覚めると見知らぬ部屋で拘束されている事に気が付いた。

電話越しの、トラ●プは言う。

「このGreatな地球を救うために、
愛やなんやらで地球外の雌豚共をファックしてこい！」

訳して、「愛は地球を救う作戦」

知らぬ間に地球代表にされていた亮太は、
地球存亡を掛けた恋愛に巻き込まれていくのであった。



What's game? -ゲーム概要&趣旨



SF学園ラブコメディ



ADV

スペースオペラで、学園ラブコメがやりたい！

スタートレックの異星人同士の恋愛描写を見て
ニヤニヤしてるようなやつ、つまり俺！！！！

地球の消滅を防ぐため

一年以内に

地球外知的生命体の女の子

を口説き落とし、

メイク・ラブせよ！！



用語説明と詳細①

・銀河人類統合体

天の川銀河系最大の人類種統合組織。『愛による人類の統合』を掲げており、新たな文明を迎える条件に「異星人間同士で恋愛できるか」を基準としている。条件を満たさない場合、「将来性危険因子」として母星ごと排除される。

・愛による人類の統合

『銀河人類統合体』発足以来、あらたな文明を受け入れては戦争を繰り返した末の結論である。物質的に完全に充足された銀河世界において、戦争とは経済的な理由ではなく、「根源的な人種間の差別意識」によって起こるとされ、「人種間の根源的な差別意識を撤廃する為の最低限の条件は、その人種間において恋愛に発展できるか否かである」という考えに基づき掲げられる標語であり、カリキュラムの通称である。

一般的には、

- ・対象種の適齢期の若者を無作為に選別
- ・他人種しか居ない環境に隔離
- ・一年程で多人種に恋愛感情を抱けるか

という手順で行われるカリキュラムを指す。
必ずしも性交渉に及ぶ必要はない。
(※物理的に及べない場合が多い)

・人類種

銀河人類統合体社会において、「人類種」とは全ての知的生命体を指す。哺乳類型・爬虫類型・魚類型・昆虫型・鉱物型・植物型・細菌型・その他 全てである。人類種であるかの基準は、コミュニケーションが取れるか、「恋愛出来るか」である。単性生殖であっても、疑似恋愛感情を抱ければ良い。

・地球での認知度

主人公も含め、一般人は地球文明が銀河人類統合体と接触したことを知らない(地球外に知的生命体がいる事も知らない)。これは各国首脳が『愛による人類統合』による混乱を危惧した為である。

主人公などの関係者身内(一親等内)にのみ、情報が開示されている。

What's stage?—舞台



「銀河種統合計画」によって特別に作られた

コロニー型学園が舞台となる。

ポイント①

多種多様な人種が滞在

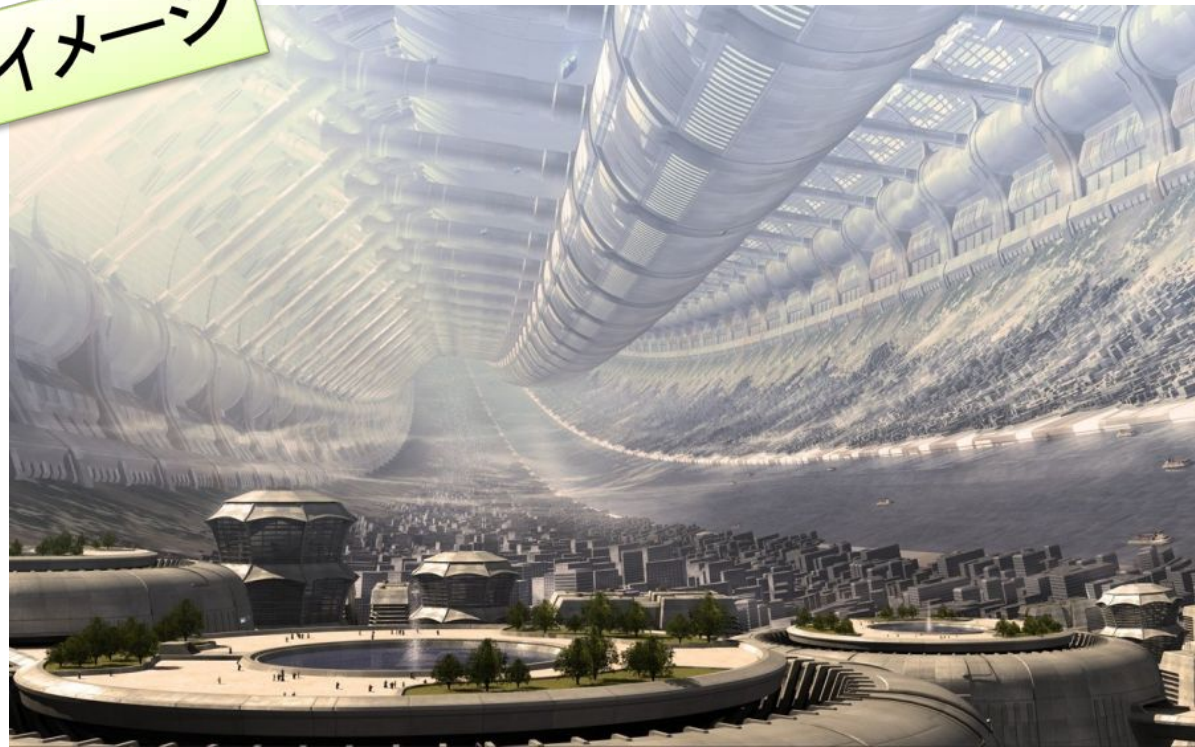
—地球人類種は主人公のみ
孤独な戦いが予想される。

ポイント②

公用語は惑星間共通語

—当然主人公はしゃべれない
困難な戦いが予想される。

イメージ



What's heroine? -ヒロイン紹介①



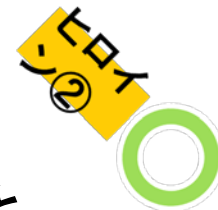
種族:フティムル星人 — 触手っ子！！

多言語の習得に非常に長けた種族であり、主人公の通訳兼世話係を務める。出会い頭に主人公に「化物...」と言われてしまったため、主人公の事を毛嫌いしている。呼吸は口からではなく、頭部の粘膜に覆われた触手から行う。性格はツンデレ。



種族:フロシー星人 — 一つ目っ子！！

銀河系全体から見ても非常に珍しい単眼種。それ以外の点では容姿・生態系共に地球種と酷似しており、同起源説が考えられている。後ろ姿のみだと完全に地球人と同じなので、勘違いした主人公が彼女を虐めから助けてしまい、懐かれる事に。単眼種に対する嫌悪感は、銀河的に見ても一般的であり、近年問題となっている。彼女も例に漏れず、それが原因で虐められている。



What's heroine? -ヒロイン紹介②



種族: インテブル星人 — 植物幼女！！



哺乳類系でなく、植物系の星人。銀河全体として見ればそれなりにポピュラーな種族である。顔のような物を形成するが、コミュニケーションの為であり、顔としての機能は果たさない。本体はいわゆる根の方に存在する。発声が出来ず、ボディーランゲージや微弱な電気信号で会話する。植物系が会話出来ないのは銀河的に周知の事実なのだが、無知な主人公が何度も会話を試みたため、苛立ちと共に興味を覚えた。

他にも個性的な女の子が沢山！！！！

地球的感覚を放棄して、

個性豊かな女の子たちと、

ドキドキ体験を積み重ねよう！！

用語説明と詳細②

・コロニー型学園

正式名称「愛による統合記念学園」

『愛による統合』のカリキュラムを受けている文明種に加え、各惑星から年頃の様々な人種が学園生活を送っている。授業は基本的に銀河共通語で行われ、科学・数学・銀河史などを学ぶ。大気は中間大気(汽水みたいなもの)で覆われており、非酸素系の種も快適に過ごすことが出来る。学生だけでなく、様々な施設の職員も居住している。学園都市のような物だと考えると良い。

・銀河共通語

発声期間を持つあらゆる人種が発声でき、かつ、全ての人種の思考プロセスを表現できる言語体制として作られている。人類種が追加される限り、永遠に未完の言語である。

・フティムル星人

銀河人類統合体発足初期から参加している種である。記録に残る最も古い時代から、複数の惑星に点在して存在しており、他文明間の通訳を生業としてきた種である。その言語適正能力は、あらゆる種族を凌駕し、地球の言語レベルなら、2週間レベルでネイティブ並みになる。肺のような器官を持つが基本的に発声のためであり、呼吸は主に頭頂部に多数存在している触手の粘膜を通して行う。酸素系種であり、いわゆる帽子を被ると窒息する場合がある。あらゆる言語の発声を行える整体を持つ。興奮すると、頭部の粘液を多量に分泌する。

・フロシー星人

天の川銀河全般で見ても、非常に珍しい単眼種である。大きな目が顔の面積の3分の1近くを占めており、眼が大きい程、美人とされる。単眼であること意外の生態系が、地球人類と非常に似通っており、同起源説が主張されている(といっても、地球人類種が発見されたのが非常に最近なので、確かな情報は何も得られていない)。単眼種に対する嫌悪感は銀河的に見ても一般的であり、これは「愛による人類の統合」の理念を大きく揺るがすもので、近年問題となっている。元々、ある種族の奴隷種族であり、フロシー星人とは元々はその種族の呼び名である(その種族は母星ごと排除された)。

・インテブル星人

哺乳類系でなく、植物系の星人。銀河全体として見ればそれなりにポピュラーな種族である。顔のような物を形成するが、コミュニケーションの為であり、顔としての機能は果たさない。本体はいわゆる根の方に存在する。発声が出来ず、ボディーランゲージや微弱な電気信号で会話する。

鉱物としての母星はなく、植物その物が惑星と呼べるような物から誕生し、インテブル星人と呼ばれる者たちは全てその母星種子である。

交配して子を作る場合、母星に一度帰還し、遺伝子情報を母星に託す事で、次の種子を産む。

同種であっても、親の遺伝子情報により多様な姿を取ることが大きな特徴である。

System - ゲームシステム



マップ探索
&
好感度システム

気になる女の子の元へ、足繁く通って攻略しよう！！

Topics&Problems – 引きとエサと問題点



ギャルゲらしからぬヒロイン達

-設定・デザインとも媚びないことで、
強烈な個性を産み、変態と怖いものみたさのニワカを引き込む。



シナリオはバッチリ王道ギャルゲ

-王道ギャルゲ出来ないメンツで、王道ギャルゲをすることで、
達成感と強い満足感、なによりユーザの目利き感を満足させる。



何処までユーザの常識を破壊できるか

-シナリオ上でも、主人公が異星人との見た目のあまりのギャップに恋愛感情を抱けないという描写があるが、
それは高確率でユーザにも当てはまる。

どれだけユーザの頭を破壊出来るかが鍵。

Summary & Need Stuff - まとめと募集スタッフ



世界系
+
ラブコメ + 人外 = 新王道爆誕!
+
スペースオペラ



貴様らのGreatな
投票を待ってる
ぜ!!

Need Stuff

シナリオ: 一名以上
サウンド: 一名以上
システム: 一名以上
広報: 一名以上

グラフィック: 2名以上

(※特に「確かに気持ち悪い
はずなんだけど、何故か可
愛い」絵を描ける方を募集
致します)